



三重県明和町

第三十六回

千年の風 蒼い空

# 斎王まつり

平成30年

6月 **2** 土

(雨天の場合中止)

斎王市

15時～21時

斎宮歴史博物館会場

禊の儀

15時30分～

上園芝生広場

前夜祭

17時～21時

斎宮歴史博物館会場

特別ゲスト/SOLBRA

開会式・斎王他出演者披露

6月 **3** 日

(雨天の場合中止)

出発式・斎王群行・社頭の儀

13時頃～15時頃

さいくう平安の杜～上園芝生広場～斎宮歴史博物館

斎王市・アトラクション

10時～15時

斎宮歴史博物館会場



# 配役



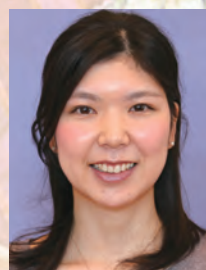
子供斎王

西村 まなみ  
(明和町)



斎王  
さいおう

中保 友里  
(津市)



糟谷 紗織  
(志摩市)



伊藤 有希  
(松阪市)



中西 志緒理  
(伊勢市)



立花 木乃斐  
(千葉県船橋市)



北岡 奈々  
(松阪市)



阪井 紋菜  
(明和町)



増本 千明  
(鈴鹿市)



橋本 茉奈  
(度会郡大紀町)



奥山 玲加  
(伊勢市)



山本 実里  
(明和町)



吉村 歩  
(津市)



森田 めぐみ  
(松阪市)



榎原 美樹  
(愛知県清須市)



村谷 友香理  
(松阪市)



野田 真愛  
(津市)



栗原 雅美  
(京都府京都市)



後藤 佳江  
(四日市市)



古橋 彩帆  
(東京都三鷹市)



佐藤 彩希  
(埼玉県ふじみ野市)





早川 哲生  
(伊勢市)



桐山 卓也  
(津市)



乙部 太一  
(津市)



山本 泰広  
(松阪市)

風流傘  
ふうりゅうがさ



山本 由佳  
(志摩市)

近衛使  
このえつかい



松浦 信男  
(多気町)



中村 幸美  
(明和町)



柏木 綾子  
(大阪市)

検非違使  
けびいし



畑中 秀幸  
(津市)



倉田 進  
(津市)

齋宮十二司官人



坂谷 有絵  
(伊勢市)



池田 梨夢  
(津市)



辻 宣子  
(松阪市)



小林 明希子  
(四日市市)

舞人  
まいびと



協力参加  
皇學館大学 雅樂部の皆さん



# 童・童女 出演者 (順不同)

水干  
すいかん



伊藤 美結



古屋敷 愛花



平田 岬



仲 美羽



向井 陽莉



森 彩乃



飛矢地 愛結



中西 珠菜



辻 蒼衣



近藤 亜実



下田 心愛



紀平 櫻乃



西村 咲愛



早川 智基



杉山 穂菜



藤田 愛梨



中谷 雪乃



東村 美空



中山 叶夢



駒野 凌



取嶋 竜雅

千早



山本 いろは



青木 莉帆



中北 凜



成瀬 百花



坂倉 優依



橋本 爽耶



北出 悠莉



大須賀 希子



近江 琉莉



松島 晴海



山村 藍子



二宮 鈴友



和田 美優



上前 陽毬



出口 華菜



宇城 那留



河原 由依



古川 夏子



東村 美海



竹林 優奈



山際 澄鈴

あこめ



橋本 颯夏



中村 羽那



窪田 和奏



竹内 紗樂



取嶋 綾音



濱西 穂乃佳



## 第三十六回 斎王まつりを迎えて

平成三十年は明和町制六十周年を迎え、町内各地で六十周年をお祝いするイベントが行われます。

斎王まつり実行委員会も、町制六十周年を意識して少し変更しました。

「禊の儀」が初日に2日（土）15時30分（斎宮駅北側芝生広場特設会場）から行われます。

前夜祭のステージも「竹の都 斎宮」にちなんで、竹あかり作家・演出家 川渕皓平氏とコラボしたステージとなります。

前夜祭のさらにレベルアップしたステージをお楽しみください。

3日（日）13時 出発式も「さいくう 平安の杜」からスタートするようになって3年になります。

少しでも皆さまにわかりやすく内容を、工夫しました。

「出発式」から続いて、雅な「斎王群行」へと同行していただいて、斎宮歴史博物館会場での「社頭の儀」へとお進みいただき、平安の雅を満喫していただければと思います。

斎王まつり実行委員一同、さらに「すばらしいまつり」となるよう今後とも精進してまいります。

斎王まつり実行委員会

（雨天中止） **6/3（日）**

（雨天中止） **6/2（土）**

**斎王市**

15:00 ~ 21:00

**禊の儀**

15:30 ~（上園芝生広場）

**前夜祭**

17:00 ~ 21:00

斎宮歴史博物館会場  
開会式 斎王他出演者披露

**特別ゲスト**

SOLBRA

**斎王市**

**アトラクション**

10:00 ~ 15:00

斎宮歴史博物館会場

**出発式**

13:00 ~

さいくう平安の杜

協力参加  
皇學館大学雅楽部

**斎王群行**

さいくう平安の杜から  
斎宮歴史博物館会場まで

**社頭の儀**

14:45 ~ 15:00

## もくじ

斎王まつり配役……………	2
斎王まつり童・童女出演者……………	4
斎宮歴史博物館で 斎王さんともっと仲良くなろう ……	6
斎宮歴史博物館の紹介……………	8
斎宮跡の発掘調査……………	10
斎王一覧……………	12
いつきのみや歴史体験館……………	13
明和町観光大使アーティスト SOLBRA ……	14
竹あかりアーティスト……………	15
図書の紹介 / 実行委員会組織体制 ……	16
斎王まつり実行委員会活動……………	17
群行衣裳……………	18
フォトコンテスト……………	20
第35回斎王まつりの思い出 ……	22





# 斎宮歴史博物館で斎王さんともつと仲良くなろう。

斎宮歴史博物館 学芸普及課長

榎村 寛之

斎王まつりには斎宮歴史博物館の南側広場で開かれ、たくさんのお客様がいらつしやいますが、意外なことに、斎宮歴史博物館に入館されない方も少なくありません。でもこの博物館は斎宮を知る世界でただ一つの知の拠点、しかも決して難しいところではありません。そこでこの博物館を深く楽しむため、斎宮歴史博物館の「知られざる楽しみ方」についてお話いたします。

## 1 ふたりの斎王さん

博物館には二つの常設展示室があります。展示室Ⅰ「文字からわかる斎王」に入る正面にいたのが「祈る斎王像」、通称『後ろ姿の斎王』です。この斎王は小桂（こうちぎ）に小忌衣（おみごろも）という姿で、木綿疊（ゆのかずら）という、楮（こうぞ）の繊維でできている紐を額に巻いています。小忌衣は神に仕える人が装束の上に着た特別の衣装で、木綿疊も祭の参加者のしるしです。つまりこの像は天照大神に祈りをささげている斎王なのです。なお足元には、神宮に「お白石持ち」で運び込まれる川原石と同じくらしいの石を敷き詰め、神宮に参拝する斎王のイメージにしています。さて・・・この斎王には顔がなく、

## 2 斎王の乗り物

十二月三十一日午後十一時五十九分にのつぱらぼうの首が反転して、正月一日零時にまた後ろを向くという・・・伝説があるようなのですが・・・じつはこの斎王にはちゃんと顔があります。博物館で最初に出した『斎宮歴史博物館展示案内（現在販売しているのは改訂新版）』と『館蔵資料目録』にはその写真が載っています。いずれも図書ホールで開架していますので、こっそりご覧になつてください。

斎王まつりで斎王さんが載っている乗り物をソウカレンといいます。斎王さんはみんな可憐だから、乗り物も「そう、可憐」というわけではありません。漢字で書くと葱華輦、葱の花の輦という意味です。何が葱の花か、屋根の上の飾りですね。ネギ坊主のような形をしているでしょう。でも、これ、どこかで見たことありません？ 橋の欄干などについている擬宝珠（ぎぼし）と同じ形をしています。この、先がとがった球形というのは、中世の絵などで「宝珠」つまり宝の玉として描かれていることがあります。そういえば桃の実の形にも似ていますね。桃は厄払いの実で、だから桃太郎は鬼に勝つのだ、という説もあります。そんなこんなで、葱の花の形はいろいろ

ろとありがたいようなのですが、そのありがたいさを独占するためか、平安時代以来、天皇・皇后・斎王など限られた人へのみ使用が許された輦として知られています。

さて、斎宮には現在このありがたい葱華輦がなんと三台もあるのです。一台は博物館に、もう一台はいつきのみや歴史体験館に、そしてもう一台は斎王まつりで斎王さんが乗る、今日の行列に出ているものです。これは普段には明和町地域交流センターに展示されています。これらの葱華輦にはそれぞれ特徴があります。

まず原型は博物館の葱華輦で、奈良市の東大寺境内にある手向山八幡宮で保存されている、鎌倉時代前期の神輿（重要文化財）を参考にしたものです。一般的には鎌倉時代の神輿は屋根が厚く、屋根のカーブもずんぐりむくんだ感じになるのですが、手向山八幡宮の輿は屋根が薄めで、カーブも浅く直線的でした。これは『枕草子絵詞』などに見られる古風な輿の形に近く、平安時代的な特徴を残したもののなので、作成の参考とした、というわけですね。また、一般に神社の輿は人が乗れるような大きさではありませんが、この輿は人を乗せられる大きさで、戦後まで実際にお祭りで使っていた、といういわれのあるもので

した。そうした検討の結果造られたので、かなり平安時代の輿のイメージに近いものになっています。ただし、展示スペースの関係で、輿をかつぐ輓（ながえ）は途中で切っている形にしています。

次に体験館の輿は、かつて三重県などの関係組織が協同して行った斎王群行行列の再現イベントで使われたもので、実際に人を乗せられる強度があるものです。イベント用なので屋根の作りなどはやや簡略化されていますが、サイズは博物館のものとはほぼ同じ、強度もしっかりしているので、いつきのみや歴史体験館では、だれでもが乗れる葱華輦として親しまれています。ただしイベント用で実際には車輪の付いた台の上に乗る、人がかつぐわけではないので、輓はやや短めにしています。

そして斎王まつりの輿は、博物館の輿をもとに、より原型に忠実に再現したものです。やはり普段の行列では台車の上に乗っており、展示も台車を隠す形で行われています。しかし実はこの輿、台車から外すこともできます。そして輓が実物大の長さなので、前方に六人、後方に六人の十二人で担いだことがあるのです。それは博物館の映像展示『斎王群行』の斎王行列の撮影の時でした。その様



子は今でも映像展示の中で見ていただくことができますが、担いでいただいた屈強なエキストラの方の話では、ともかく重かったのだそうで、はからずも平安時代の駕輿丁と呼ばれる輿を担ぐ専門家の苦勞がしのばれたのでした。

このように特別な仕様の輿を三台も見る事ができる所は日本中でも斎宮しかありません。三台を見て写真にとってインスタグラムにアップすると、お客様の御利益にあずかるかもしれませんよ。



### 3 斎王の儀式のトリック

斎宮歴史博物館展示室Ⅰの中に、伊勢神宮の模型の中で斎王さんが儀式を行うという、動画と模型を組み合わせた映像があります。一見立体映像のように見え、ホログラムかと感動されるお客様もいらつしやるのですが、実はこれは、かなり伝統的な展示の方法にのっとり作られているのです。

この展示ケースの中にある伊勢神宮は、奈良時代の内宮の模型です。ただし現在の伊勢神宮ではなく、『皇太神宮儀式帳』という平

安時代初期の文献に記された、奈良時代の神宮の形を再現したものです。現在との一番の違いは、いちばん外の門を入った庭と呼ばれる部分がかなり広いことです。平安時代の記録では、祭の時には斎王に仕えた官人たちもこの庭に入っており、今より沢山の人が入れる広さだったようです。

この広い庭と、内側の門の内側で儀式が行われるのですが、この中で動く人たちは、実は中にいるわけではありません。模型に近づいて、展示ケースの中の上の方を見てくださいます。テレビがはめ込まれているのがわかります。この画像が模型の中に投影されているのです。では、どうやって？

この模型と見ている人の間には、手前から奥にかけて45度の角度で透明なガラスが掛けられています。このガラスがトリックの仕掛けなのです。なんとこのガラス、お客様の側から見ると透明なガラスで、全く目につかないのですが、模型の側から見ると鏡になっているのです。そこにテレビのような強い光の画像が映るとどうなるか、実はガラスで反射されて、お客様の側に反射されてくるのです。これが中で人が動いているトリックです。そしてテレビは固定式と可動式の二台があり、上映していない時によく見ると、固定式テレビのぼんやりした影がまんなかへんの上の方に見えています。上演している時には、よく「ウィーン」という音が聞こえますが、これは可動式テレビを動かすウインチの音なのです。このようなしくみは「マジックビジョン」といい、実に十九世紀にはその原理が発明され、当時の万国博覧会やマジックハウスなど

のイベントでも見られたという記録があります。でも、三十年にわたって大事に使い続けているのはこの博物館以外にはほとんどないと思われれます。

### 4 斎宮アプリにはまりましょう

さて、斎宮歴史博物館では斎宮の色々なお宝が展示されているのですが、それぞれの解説を見ていくのは意外に大変です。まして斎宮というと、日頃なかなかなじみが無いので、読み飛ばせない情報も少なくありません。そんな方のために、昨年度から斎宮歴史博物館では、新しいサービスを開始しました。

「斎宮アプリ」です。

このアプリは、スマホなどの携帯端末とイヤホンさえ用意していただければ（イヤホンは博物館で貸出可能です）、アップルストアやグーグルプレイからそれぞれ無料でインストールが可能です。対応機種 iPhone / Android を搭載した端末で、iOS 7.1 以降、Android 4.3 以降、配信情報のすべてを表示する「通常モード」のほか、利用目的にあわせて情報数を限、位置情報サービスおよび Bluetooth をオン状態にしておいていただければOKです。

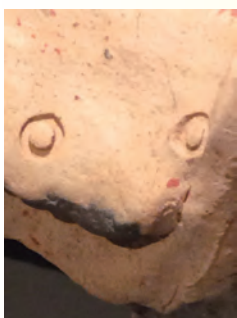
このサービスでは、斎宮歴史博物館内で情報、斎宮歴史ロマン広場内の10分の1模型などで9情報、史跡公園「さいくう平安の杜」正殿・西脇殿などで8情報をご案内しています。ただ歩くだけで博物館の案内がスマホに飛び込んでくるというすぐれものです。

また、時間がないのでそんなにたくさんいいられない、という方のために、配信情報のすべ

てを表示する「通常モード」のほか、利用目的にあわせて情報数を限定した5つのコースからなる「ゆったりコース」「短時間コース」「斎王に親しむ」「斎宮に親しむ」「斎宮の考古学」の「目的別案内モード」を選択できます。

いかがでしたでしょうか。博物館のひみつ。斎王行列が終わってもまだ一時間以上博物館は開館しています。斎王まつりに来られた機会に、斎宮歴史博物館でちょっと深めに斎宮にふれていただくと、もっと斎宮を楽しめること請け合いです。さて最後に問題です。この3点の写真、博物館のどこかにあるものの一部です。見つけられますか？

### 博物館のどこかにあります…見つけられますか？



クイズ写真③



クイズ写真②



クイズ写真①



# 齋宮歴史博物館



## はっけん 発遣の儀

齋王は伊勢に旅立つ日、現在の桂川（葛野川）で身を清め野宮から京に戻る。

京の中心の平安宮で、天皇と別れの儀式をおこなうためである。

天皇が齋王の額に櫛を挿すのが、この発遣の儀式のクライマックスでこの時、天皇は齋王に「都の方におもむきたもうな」と声をかける。齋王はふりかえらずに伊勢に旅立つのが決まりであった。

「源氏物語」や「栄華物語」では、「別れのお櫛」と呼ばれている。





# 斎王の卜定

ぼくじょう

斎王は内親王や（天皇の娘）や女王（皇族の娘）から選ばれる。条件は結婚していないこと。

年齢制限はなかったようで、選ばれた年は

五才以下から二十代後半までにわたる。

斎王を選ぶことを卜定という。

トとは海亀の甲羅の

腹側を焼いて

ひびの形で神の意志をうかがうという占いのことである

候補者が適任かどうかを決めるものであったが

適任が出るまで三度もくりかえして占った

記録もある。



ト 甲  
[レプリカ]  
Carapace used for  
divination  
[Replica]

（複製）古生時代 神奈川県立大学

## 餌袋（『斎王群行』小道具）

えぶくろ

餌袋というのは、もともと鷹狩りに使う鷹のえさを入れる袋で、竹を編んで作り、腰につけたものだったようです。

しかし『おちくぼ物語』には、菓子や餅を入れる「餌袋」というものが出てきており、今というポシェットのような物も餌袋と呼んでいたことがわかります。

この群行で天皇から送られたものは「金菓子の入った銀の透かしのある餌袋」とあり実用というより、豪華な装飾品と考えられます。

茶道具に餌袋をまねた「餌畚の茶入れ」と呼ばれるものがあり、その形をもとに、竹の代わ

りに銅の薄板で編み

上げ、銀メッキを

して作りました。





# 国史跡齋宮跡の発掘調査

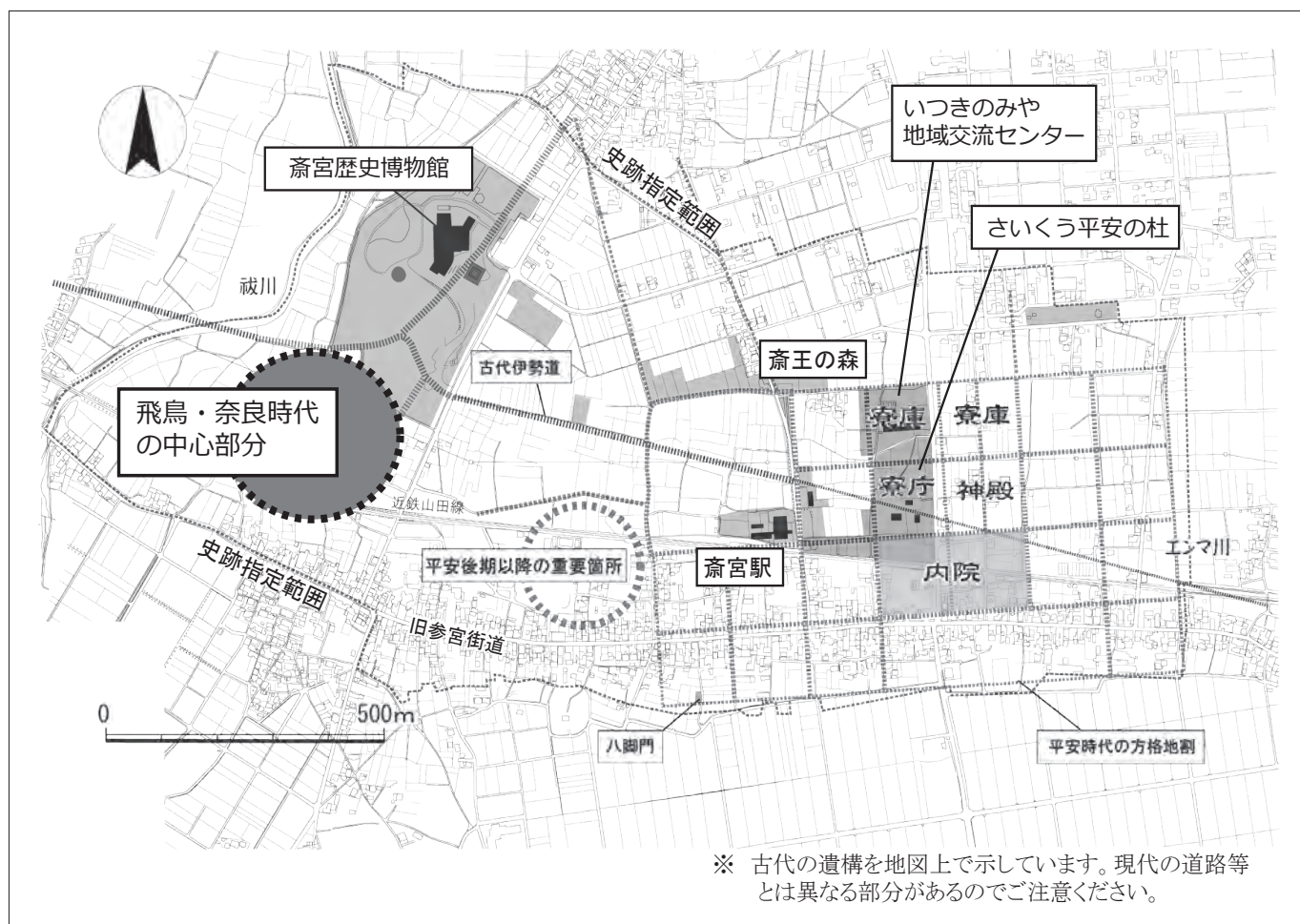
飛鳥〜奈良時代の初期齋宮の解明にむけて

国史跡齋宮跡では、齋宮歴史博物館が中心となり、地元住民や明和町の協力のもと、一九七〇年から実態解明のための発掘調査を続けてきました。これまでの発掘は、史跡公園「さいくう平安の杜」の復元建物の周辺での解明に重点を置いてきました。その結果、奈良時代末から平安時代はじめ（八世紀末〜九世紀前半）に、幅約十五メートルもの区画道路が縦横につくられ、京都の長岡京や平安京のようなみやこと同じ設計方法で、当時は東海地方でも最大級の古代都市が営まれていたことが明らかになっています。

その一方で、明和町のこの地に齋宮が置かれるようになったとされる飛鳥時代から奈良時代（七世紀末〜八世紀後半）の齋宮のよ

うすは、おそらくその中心は平安時代と異なり、史跡の西部にあるだろうということは推定されてきましたが（第Ⅰ図）、その実態はあまりよくわかっていませんでした。齋宮歴史博物館は今、この初期の齋宮の実態解明に発掘調査の重点を置いています。

平成十六年度の第一四六次調査で、一辺が約一メートルの方形の穴を掘って直径三〇センチほどの柱を埋めた掘立柱の列と、それが直角に曲がる隅の部分が見つかり、周辺でそれ以前から見つけていた柱穴とつながって大きな堀の囲みを作るのではないかと考えられるようになってきました。さらに平成二八年度の第一八九次調査では第一四六次で見つけていた反対側の隅とみられる掘立柱堀



第Ⅰ図 史跡齋宮跡全体図



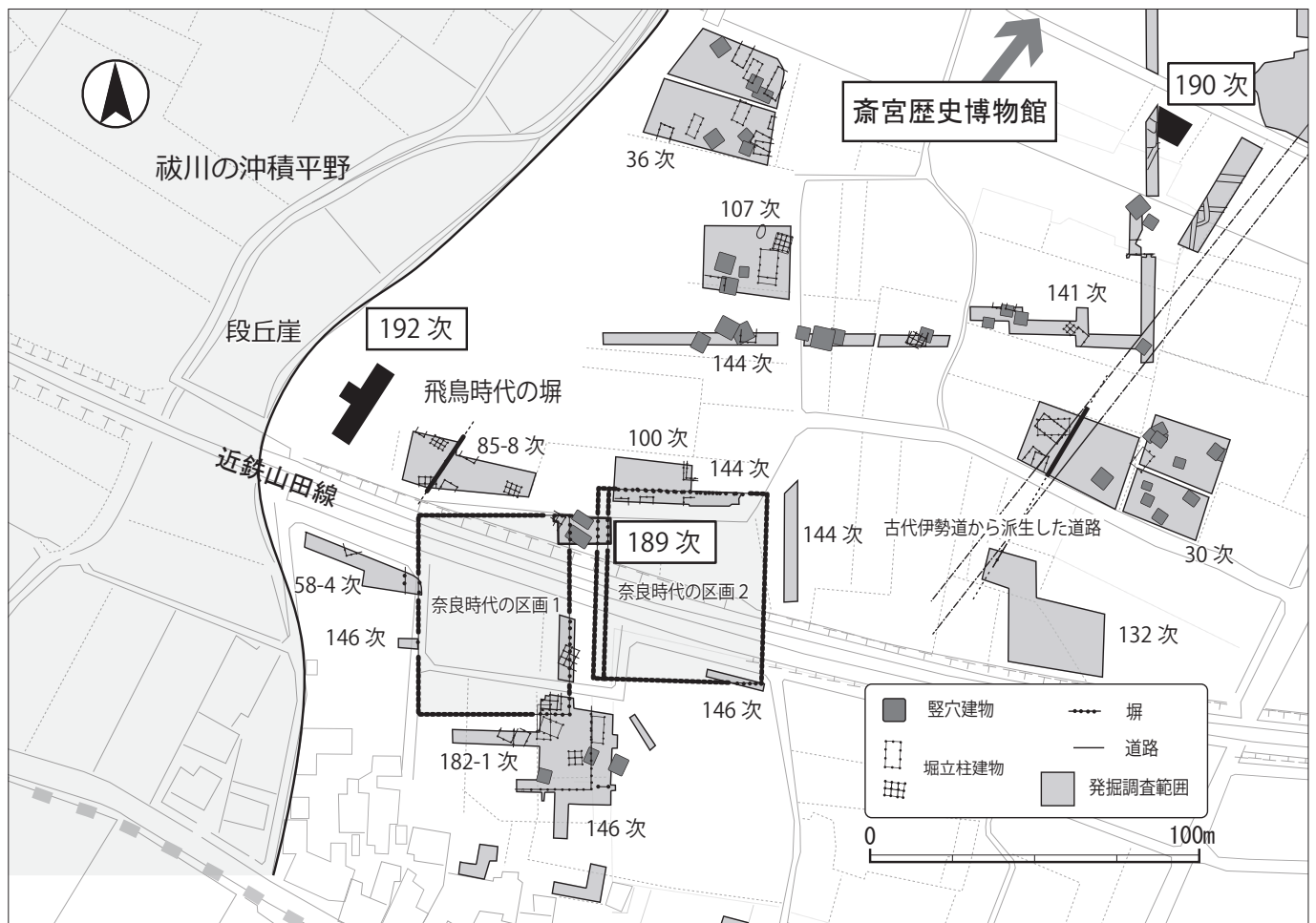


平成29年度の第192次調査

が折れ曲がる角を見つけ、下の第Ⅱ図で「奈良時代の区画1」とした一辺がおよそ五〇～六〇メートルの規模の、周囲を嚴重に囲んだ区画があることや、さらにその東側にも同様の区画があることが分かってきました。これら複数の区画は少しずつ時期差があり、あるいは飛鳥～奈良時代の斎王が交

替するたびに整え直されていた可能性も考えられています。このように初期の斎宮は、平安時代の大規模に整備された斎宮とは、まったく異なった様子だった可能性が高まってきているのです。

昨年度には博物館は、平成二年度の第八五―八次調査で発見された、飛鳥時代（七世紀末）とみられる堀の跡の周辺の調査（第一九二次調査）に着手しました。現在のところは決定的な手がかりをつかむには至っていませんが、ここ数年の発掘で初期の斎宮の解明が劇的に進む可能性ががあります。今後の発掘にご期待ください。



第Ⅱ図 史跡西部の発掘と遺構



\*は女王(天皇の娘以外の皇族女性)  
「」内は実在の確認できない斎王  
○は斎宮に群行した斎王  
△は斎宮に群行しなかった斎王

南北朝	鎌倉	平安
○柔子（やすこ）	○肅子（すみこ）	○雅子（まさこ）
八九七〜 九三〇	一一九九〜一二一〇	九三一〜 九三五
醍醐	土御門	朱雀
（八九四）	（一一八五）	（九三五頃）
遣唐使廃止	源頼朝 征夷大將軍 就任 鎌倉幕府開く	重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）
古今和歌集撰上	承久の乱 朝廷の力衰退	土佐日記
斎宮寮の失火（扶桑略記）	平家滅亡	（九三八）
延喜式完成 斎宮に関する細則も納められる（延喜式）	鎌倉幕府 元弘の変	（九二七）
この頃竹の都と呼ばれる（大和物語）	建武の中興 滅亡	（九二二）
（九一五）	（一一九二）	（九一四）
（九〇五）	（一一八五）	（九〇五）
（八九四）	（一一七二）	（八九四）
○子子（まさこ）	○照子（ひろこ）	○英子（はなこ）
九三六〜 九四五	一二一五〜一二二二	九三六〜 九四五
朱雀	順徳	朱雀
（九三五頃）	（一二二二）	（九三五頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	源頼朝 征夷大將軍 就任 鎌倉幕府開く	土佐日記
土佐日記	承久の乱 朝廷の力衰退	（九三八）
（九二七）	（一二二二）	（九二二）
（九一五）	（一二一五）	（九一五）
（八九四）	（一二〇七）	（八九四）
○子子（まさこ）	○利子（としこ）	○悦子（よしこ）
九三六〜 九四五	一二二六〜一二三二	九四七〜 九五四
朱雀	後堀河	村上
（九三五頃）	（一二三二）	（九四五頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	四条	村上
土佐日記	（一二四四）	（九四五頃）
（九二七）	（一二四六）	（九四九頃）
（九二二）	（一二二七）	（九四九頃）
（九一五）	（一二二二）	（九四四頃）
（八九四）	（一二一七）	（九四四頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（九二七）	（一二二二）	（九六八頃）
（九二二）	（一二一七）	（九六八頃）
（九一五）	（一二一〇）	（九六八頃）
（八九四）	（一二〇五）	（九六八頃）
○子子（まさこ）	○暲子（あきこ）	○隆子（たかこ）
九三六〜 九四五	一二四二〜一二四八	九六八〜 九七四
朱雀	後嵯峨	冷泉
（九三五頃）	（一二四八）	（九六八頃）
重明親王女 徽子女王群行（貞信公記）	（一二四二）	（九六八頃）
土佐日記	（一二二七）	（九六八頃）
（		



# いつきのみや地域交流センター

「いつきのみや地域交流センター」と少し長い名前のこの施設。どのような施設でしょうか？今回はいつきのみや地域交流センターについてご紹介いたします。

近鉄斎宮駅から歩いて約5分のところに平成29年（昨年）4月にオープンを迎えました。建物としてはオープンしましたが、周囲の整備ができておらず、ご利用されるお客様にはご迷惑をおかけしましたが、9月30日ようやくグランドオープンを迎えることができました。

『いつきのみや地域交流センター』は外觀が白で統一されており、2階建ての施設です。有料の貸しスペースがあり、会議や講演会だけでなく、様々な用途で使えます。昨年では囲碁やかるた・ダンス・上映会などでもご利用いただきました。

「休憩スペース1」「休憩スペース2」「エントランス」とあります。スペース1は正面に木がふんだんに使われ、広さは62坪（205㎡）と広く椅子や机を使用してゆったりと席を設けると



またオリジナル商品やお菓子などの販売も行っております。持ち込み弁当など持参し休憩もできます。昨年6月から奈良時代の天平衣装をイメージした装束の体験も始めました。服の上からカンタンに着ることができ、女性は全体的に明るい色目の装束に、かつらや小物もあります。男性は10月に色も増え、帽子にしゃくもあります。今流行りのSNS映えすること間違いなし！お子さまは3歳くらいから着付けすることができ、ぜひご家族やお友達同士で体験してみたいかでしょう。1時間自由に散策できて大人

約1000名様収容できます。プロジェクター用のスクリーンや音響・マイク・給湯室も完備しております。スペース2は南向きで中庭への出入りができる窓があり、とても明るく開放的です。こちらにはスクリーン等はありませんが、長方形型で広さは27坪（90㎡）あり、こちらは約50名様収容可能です。休憩スペース1と2、エントランスとを仕切っているのは可動式のパーテーションで、大きなイベントの際には全て取り外して使用できます。休憩スペース1と2で椅子のみの利用で最大300名様収容できます。南向きの暖かな日が差し込むエントランスでは、斎王まつりで実際に斎王役が乗る「葱華輦そうかれん」の展示を行っており、間近にご覧いただけます。おまつりの日は残念ながらご覧いただけませんので、後日ご来館ください。

1000円子ども500円と気軽に体験できるのもうれしいところ。着て、さいくう平安の杜やいつきのみや歴史体験館で写真を撮りながら、コスプレを楽しんでみるのも良いかもしれませんね。2階には展望テラスがあり、斎宮跡の景色を見渡せます。階段が苦手な方も1階のエントランスから同様な景色が楽しめます。南には近鉄線があり、電車が大好きなお子様も安心してご覧になれます。



少し『いつきのみや地域交流センター』のことがお分かりいただけたかと思います。

それでは、一歩外へ出てみましょう。玄関前には広がるのは芝生広場と石畳の広場です。広場には車両は搬入時のみ進入でき、一般車両は駐車スペースまでとし広場には入れませんので、安心してウォーキングや運動をしたり、小さなお子様を歩かせたりボールなどで遊んだりして広場を自由にご利用いただけます。ひと休憩できるあずまやもあつて嬉しい限りです。

何かで使いたいなと感じましたら、気軽に受付にてお尋ねください。またみなさまの交流の場として、イベント等も企画し、より使いやすい施設を目指していきます。どうぞよろしく願いいたします。

## いつきのみや地域交流センター

開館時間 9:30~17:00

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日、年末年始12/29~1/3）

管理：公益財団法人 国史跡斎宮跡保存協会  
住所：〒515-0321 三重県多気郡明和町斎宮2811  
TEL：0596 (63) 5315  
E-mail：center@itukinomiya.jp  
ホームページ：https://www.itukinomiya.com





明和町観光大使アーティスト

# SOLBRA

ソルブラ

王子  
DoNa(ドナ)

執事  
IGU(イグ)

王子と鳥の不思議なシンガー  
二人の歌は、人の心に響く。  
時に力強さを、時に癒しを  
歌で元気を与えてくれます。

東京都内を中心に活動。  
発売シングルはオンライン  
ランキングチャート17位。  
多くの人に愛されました。



**明和**が誇る、**明和出身**のアーティストを  
皆様、これからもよろしく願いいたします

## 斎王まつり スペシャルステージ

東京都内で開催し、人気を誇る彼らのステージ「SOLBLIVE(ソルブライブ)」  
4.1に豊洲シビックセンターホールで開催し、大興奮の中、幕を閉じました。  
今回なんと！2018.6.2の斎王まつりでは、CherryBonBon協力のもと、  
「斎王まつり限定の特別ステージ」としてパワーアップして登場いたします！！





# 竹あかりアーティスト

川渕 皓平

手付かずになり荒れた竹林から竹を伐り出し  
美しい竹あかりとしてふたたび命を吹き込む  
竹あかりアーティスト



© yoshinori arai photograph



平和への想いが籠もった竹  
あかりが生み出す空間は感動  
を与えてくれる。

伊勢志摩サミット会場演出、  
伊勢神宮外宮奉納舞台演出、  
三重県総合文化センター内日  
本庭園演出、橿原神宮神武祭  
での演出、等々各地で行われ  
る演出は唯一無二の竹あかり  
と賞賛を浴びている。

二〇十七年には日台芸術家  
交流で三重県から2名だけ選  
ばれる芸術家に選ばれ、台湾  
の美術館でも演出をするなど、  
国外からも注目されている。

また、竹あかりの作り方を  
教える竹あかりワークショップ、  
地域密着型のまちづく  
りとしての竹あかりのプロ  
デュース、竹あかりの魅力を  
伝える講演会、さらには竹炭  
づくり、竹林整備などの活動  
にも力を注いでいる。





# 図書の紹介

私達の「齋宮」について  
より多くのことを知っていただくために  
―地元で読める齋宮関係図書のご紹介―

凡例  
◎ふるさと会館（図書館）で貸出可 ○ふるさと会館（図書館）で閲覧可  
☆いつきのみや歴史体験館・博物館ミュージアムショップで販売  
◇齋宮歴史博物館図書ホールで閲覧可

「齋宮」の入門書として	谷口布有緒文 里中満智子画『齋王ロマン 都わすれの詩』明和町◎☆ 中野イツ著『齋宮物語』明和町◎☆ 山川修司著『語り部の竹の齋王語り』近代文芸社◎☆◇ 榎村寛之著『伊勢齋宮と齋王』塙書房☆
郷土の歴史として「齋宮」を知りたい方に	奥井宏忠著『別れの御櫛―齋の宮と齋宮寮』光書房○○◇ 明和町教育委員会編『郷土史に見る齋王』○○◇ 三重の文化財と自然を守る会編『伊勢齋王宮の歴史と保存』○○◇ 『同Ⅱ』◇
齋王「行の旅した群行」の道を歩いてみたい方に	田畑美穂著『齋王のみち―伊勢齋宮の文化史―』中日新聞本社○○◇ 村井康彦監修『齋王の道』向陽書房◎☆◇
「齋王」を小説で読んでみたい方に	内田康夫著『齋王の葬列』角川書店○○◇ 池田美由喜著『鷲草―大津皇子とその姉と―』新風舎◇ 郡俊子著『倭姫宮の御巡行』勢陽文芸◎◇ 々々 『伊勢齋王の恋』近代文芸社◎◇ 々々 『哀しみの伊勢大来齋王』近代文芸社◎◇
「齋宮」や「齋王」について考えてみたい方に	津田由伎子著『齋王』学生社○○◇ 山中智恵子著『齋宮女御微子女王―歌と生涯―』大和書房◎◇ 々々 『齋宮志』大和書房◎◇ 々々 『続齋宮志』砂子屋書房◎◇ 々々 『齋宮簡記』砂子屋書房◎◇ 所京子著『齋王和歌文学の史的研究』国書刊行会◇ 々々 『齋王の歴史と文学』国書刊行会◇ 榎村寛之著『律令天皇制祭祀の研究』塙書房◇ 中川ただもと著『齋宮和歌の解釈と鑑賞』紫明の会☆ 服藤早苗著『歴史のなかの皇女たち』小学館☆

## 第36回（平成30年度）齋王まつり実行委員会組織体制

（敬称略・順不同）◎班長 ○副班長

本部		代 表	森田 均	名誉会長(町長)	中井幸充					
		副代表	東谷 泰明	顧問	木戸口眞澄	西場信行	浜井初男	明石典男	辻井成人	
		企 画	森下 清		西井 正	辻 丈昭	東谷泰明	山川充造	長岡成貢	
		事務局	山中いずみ							
会計監事		朝倉 惟夫	久世 晃	相談役	辻 孝雄 田中 貢	森島啓之 新田一子	橋本久雄	西川道子	渡邊幸宏	
		任 務 分 担 の 内 容								
総務班		総務の実施 協賛金の計画 グッズ販売・スタンプラリー等 斎王市の実施 のぼり・看板計画実施 出発式・観会場の片付け		◎土井 祐治	○田端正俊 森島啓之 乾 健郎 下村幸一	○市野秀世 田中真司 奥山幸洋	竹内克巳 田中 貢 橋本久雄	大西俊次郎 小林順一 樋口文隆	辻 孝雄 辻 正 秋山修一	
着付会場班		着付会場内の管理 出演者の移動 記念写真		◎森 菜津子	○北川和樹 井尻季幸	石田豊喜	澤 恒一	中瀬正実	江 京子	
着付班		着付け準備と後片付け		◎西宮 幸代	○田中政子 八田明美 新谷千恵子 直井佳代	○安井澄代 富山正美 森 洋子 後藤佳江	衣斐喜代美 北山良子 中川啓子	菊矢照子 森下昌子 加藤早和美	夏井ちはる 西川美代子 寺西照美	
実施	まつり会場班	前夜祭の実施 アトラクションの実施 社頭の儀の実施		◎笛川浩	○岩佐康則 永島せい子 中川裕正 西道 涼	○中西修一 伊串金市 長谷川新	○北山房夫 小林邦久 和佐田照夫	○北村 哲也 間宮一彦 和佐田道子	石田藤生 佐々木久夫 佐田薫士	
	群行班	群行の実施 出発式の実施 観の儀の実施 社頭の儀の実施		◎竹内和持	○早川潤一 ○丸山浩紀 岩本温行 石田真也 辻崇宏	○東谷泰介 ○鈴木健司 中島 宏 乾 秀治 北川修平	○野上但治 辻満寿美 中井啓悟 中谷優太 世古古典剛	○浜口浩和 伊藤佳史 西岡 潤 北岡 純	○間宮辰典 永井健太 森川高広 新倉 巧	
	舞台設営班	舞台の設営及び片付け		◎関岡武夫	○西岡信行	○小林正明				
	広報班	ポスター・パンフレット原案作成 広報・宣伝事業計画		◎山内 理	三浦知子					





## 第35回(29年度) 斎王まつり実行委員会活動報告

(敬称略)

- 1月 6日(金) 事務所開き
- 10日(火) 「ROOMS」斎王出演について打ち合わせ 斎宮跡課
- 12日(木) ポスター校正会議
- 13日(金) 会計監査
- 第3回梅まつり会議
- 21日(土) 役員会
- 25日(月) 日本遺産活用推進会議(事務局出席)
- 27日(金) 総会
- 2月 2日(木) 本部会
- 8日(水) 菟華葦修理出庫
- 10日(金) 出演者募集締切
- 第4回梅まつり会議
- 14日(火) 役員会(出演者書類選考)
- 19日(日) 子ども説明会(子ども斎王抽選 中央公民館)
- 21日(火) 総務・財務班会議/菟華葦巻き布作成打ち合わせ(事務局)
- 25日(土) 梅まつり(斎宮歴史博物館にて) (斎王役 八木 業平役 島谷)
- 3月 2日(火) 菟華葦修理入庫
- 7日(火) 役員会(選考会について)
- 10日(金) 日本遺産活用推進会議
- 12日(日) 配役選考会(いつきのみや歴史体験館)
- 17日(金) 第5回梅まつり会議
- 19日(日) 交流センター竣工式
- 30日(木) NHK国際放送 打ち合わせ(事務局)
- 31日(金) 本部・群行班会議
- 4月 14日(木) まつり群行班会議
- 18日(火) 斎王市会議
- 24日(月) 自治会長会議(代表出席)
- 25日(火) 役場との打ち合わせ会議
- 27日(木) リフレット回覧(明和町全戸配布)
- 28日(金) 全体会議
- 30日(日) 竹切り作業
- 5月 1日(月) 松阪警察署 打ち合わせ
- 7日(日) 作業(竹きり のぼり立て準備 看板出し ステージ製作準備)
- 12日(金) 会場班会議
- 14日(日) 出演者説明会・リハーサル・ステージ製作・大道員製作
- 18日(木) 着付け教室・アトラクション会議
- 21日(日) 午前のぼり立て/午後 子ども出演者説明会リハーサル・ステージ組み立て
- 24日(水) 知事表敬訪問
- 25日(木) 実施班会議
- 26日(金) 役場職員説明会
- 最終全体会議
- 特別ゲスト「長岡成貢氏」打ち合わせ
- 28日(日) 最終ステージ作り
- 29日(月) 博物館と打ち合わせ(課長・事務局)
- 31日(水) 斎王市テント立て
- 6月 1日(木) 衣裳出し
- 2日(金) NHK「ゴジラ」ラジオ出演(斎王役 中前)
- 6月 3日(土) 前夜祭
- 4日(日) 斎王まつり
- 11日(日) 片付け・反省・打上
- 13日(火) 衣裳片付け
- 19日(月) のぼり修理
- 26日(月) のぼり修理
- 7月 1日(土) 日本遺産サミットin京都参加
- 3日(月) のぼり修理
- 7日(金) 役員会(反省会)
- 10日(月) のぼり修理
- 14日(金) フォトコンテスト応募締め切り
- 24日(月) のぼり修理・着付け班反省会・フォトコン1次審査
- 25日(火) 役員会(フォトコンテスト入選・入賞作品選考)応募者62名応募作品116点
- 8月 21日(日) のぼり修理
- 27日(日) プレハブ倉庫へ道具入庫作業
- 9月 3日(日) 第35回斎王まつりフォトコンテスト表彰式
- 第35回斎王まつりフォトコンテスト入賞・入選写真展(斎宮歴史博物館にて9月22日まで)
- 4日(月) のぼり修理
- 8日(金) のぼり修理
- 11日(月) のぼり修理
- 21日(木) 観月会 衣裳準備
- 22日(金) フォト写真撤回
- 役員会(臨時総会について)
- 24日(日) 研修会(日本遺産を巡る)
- 29日(金) 臨時総会
- 30日(土) いつきのみや観月会(斎王役 中前 女官役 中保)
- 10月 4日(水) 第35回斎王まつりフォトコンテスト入賞・入選写真展(いつきのみや地域交流センター)
- 10日(火) 新旧代表 引き継ぎ
- 13日(金) 役員会
- 27日(金) 着付け班衣裳修理作業
- 11月 6日(月) のぼり修理
- 7日(火) 役員会
- 9日(木) 古道まつり衣裳準備
- 12日(日) 古道まつり
- 13日(月) のぼり修理
- 16日(木) 衣裳片付け・修理
- 22日(水) 日本遺産協議会会議(事務局出席)
- 12月 1日(金) 第36回斎王まつり出演者 募集開始
- 7日(木) 第1回梅まつり会議(代表出席)・役員会
- 12日(火) 第35回斎王まつりフォトコンテスト入賞・入選写真展(さいくう平安の杜 西脇殿)
- 19日(火) のぼり修理
- 21日(木) 第2回梅まつり会議(事務局出席)
- 28日(木) 大掃除・事務所仕事納め





# 群行衣裳



## 長奉送使【ちようぶそうし】



監送使ともいう。斎王一行を伊勢まで送り届ける群行の最高責任者。沿道における警察権が与えられており、任を終えると直ちに帰京しました。

## 検非違使【けびいし】

平安時代から室町時代にかけて京中の警察を担当した職。元来、平安京の治安維持は京職や衛府の任であったが、特定の官人に京中の警察を担当させることがあり、それが検非違使となり、やがて衛府や京職・弾正台などの権限を吸収し、王朝国家有数の警察機関となったのである。

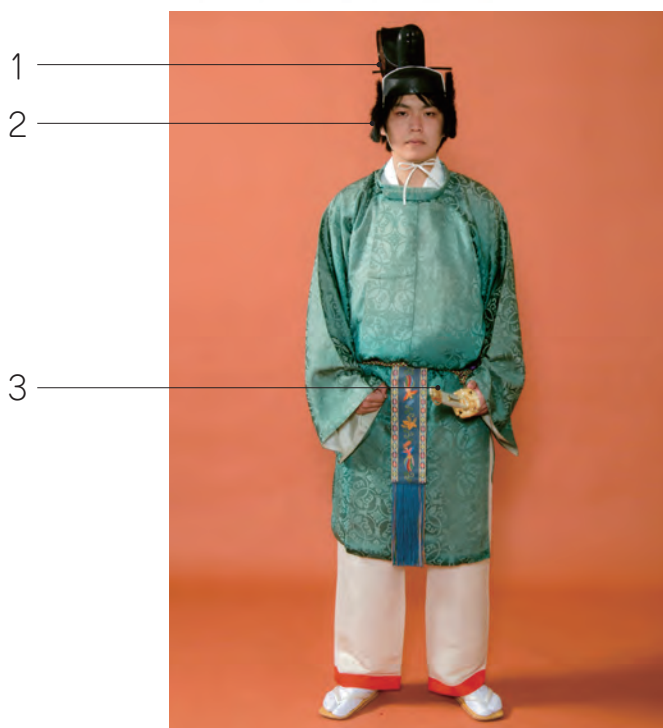
## 看督長【かどのおさ】

検非違使庁の下級職員で、身分は火長。弘仁式制では左右それぞれにつき二人と定めら

れ、貞観・延喜式制に継承されているが、その後次第に増員され、長元八年（一一〇三）の『看督長見不注進状』（『平遣』五二九～三七七）では左右合わせて十五人を数える。獄直や犯罪の捜査・追捕等を任務とする。尉を中心として編制される警察部隊の一員として出動することがあるが、単独ないし少数の従者を率い、事に従うことが多い。しばしば行き過ぎた捜査や追捕を行い、京民から頼りにされる一方で、恐れられもした。その武力は悪鬼魔神を懼伏するという信仰を生み、『徒然草』二〇三には主上御悩の時、五条の天神に看督長の鞍をかけることが見え、『神道名目類聚抄』には守門の神を看督長と称したとある。



1. 冠 かんむり
2. 綾 あや
3. 太刀 たち



## 斎宮十二司官人【さいくうじゅうにしかんじん】

斎宮寮に属して十二の仕事をする司で勤務する官人

## 駕與丁【かちよう】



斎王の乗る輿（葱華輦）を担ぐ人です。



## 斎王【さいおう】

天皇の即位ごとに、未婚の内親王（天皇の娘）あるいは女王（天皇の兄弟の娘など）の中から占いで選ばれ、天皇の譲位や崩御、あるいは肉親の不幸などにより解任されて、都に帰る決まりになっていました。伊勢神宮の祭りには、六月・十二月の月次祭と九月の神嘗祭に関わるのみで、ふだんは斎宮の中で都と同様の生活を送っていたものと考えられています。

古代から中世にかけての文学作品に登場する斎王も多く、『源氏物語』『伊勢物語』など、多くの文献に残されています。

## 十二単【じゅうにひとえ】

十二単とは近世になつてからの呼び名で、正しくは女房装束、または裳唐衣（うわぎ）といえます。単衣の上に袿を重ね、打衣、表着の上にベストのような唐衣をはおり、腰には前部のないプリーツスカートのような裳をつけます。貴族の女性の晴の衣裳（正装）です。

髪は垂髪、作り眉。上衣は、上から順に唐衣、表着、打衣、袿、単となっています。唐衣は袿、衿合わせがなく、上からはおります。表着は上の御衣とも呼ばれる垂領広袖の衿仕立てです。打衣は砒で打って光沢を出したところからこの名があります。形は表衣と同じで紋様はありません。袿は、內衣の意味で、垂領、広袖の衿仕立てで地紋があり、数枚重ねて用います。単は袿と同形ですが、衿、丈ともに長く、単仕立てで裾はひねり仕立てになっています。下衣

には袴と裳（も）をつけます。袴は緋の長袴（若年未婚は濃色）、裳は背にあてて結び、後に長く垂らして引きます。



1. 垂髪
2. 唐衣
3. 表着
4. 打衣
5. 衣（袿）（枚数を重ねている）
6. 単
7. 長袴
8. 裳（全体）
9. 裳の小腰
10. 裳の引腰
11. 櫛扇（相扇）
12. 貼紙
13. 日陰の糸（玉かずら）

※斎王が付けていたかどうかは定かではありません。



## 内侍または命婦【ないし または みょうぶ】

斎宮で働く女官たちの最高責任者として、乳母や女孺の上にいる立場にありました。

## 女別当【によべつとう】

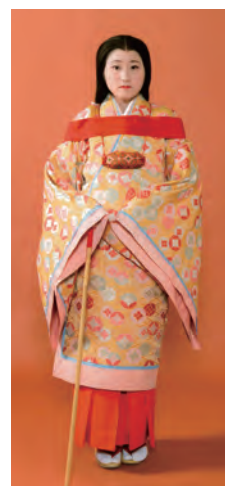


内侍や宣旨が、斎王の住むエリアで公的性格をもつ仕事をこなす女官であるのに対して、乳母のように、斎王のプライベートな「宮家」としての用向きを担当していたのではないかと考えられますが、詳しいことはわかりません。

## 乳母【めのと】

母親に代わって養育を受け持つ女性で、斎宮には、斎王個人の「家」に仕える存在として、二名ないし三名が務めるようになっていました。

## 女孺【にようじゅ】



「めのわらわ」ともいう女官で、一等から三等に分かれており、それぞれに課せられた実務を担当していました。

## 采女【うねめ】



都では、地方の郡司の娘から選ばれ、天皇の御前などに奉仕していました。しかし、斎宮に采女がいたかどうかについてはよくわかっていません。

## 童・童女【わらわ・わらわめ】

都の官人が、家族で斎宮に赴任したということも考えられますから、その子供達が斎宮内に住んでいたという可能性はあります。しかし、群行の一員として加わっていたということとはなかったようです。





第三十五回 斎王まつり

# 斎王フォトコンテスト

斎王賞



「禊」 大紀町 中西 宣夫

明和町長賞



「平安の杜」 明和町 太田 昇

明和町教育長賞



「バトンタッチ」 津市 江 紹价

明和町議会議長賞



「都を思い「祈り」」 伊勢市 瀧川 和夫

斎宮歴史博物館館長賞



「笑顔でお別れ」 伊勢市 島田 良平





特別賞

「決意も新たに」 伊勢市 山下 和宏



特別賞

「斎王群行出発」 明和町 田中 秀俊



特別賞

「やさしく育む」 大台町 出口 静子



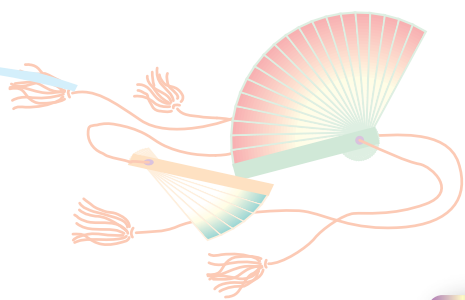
特別賞

「斎王とめい姫の融合」 松阪市 亀谷 清宣



特別賞

「受け継ぐ」 大台町 小椋 幸志



斎王まつりフォトコンテスト作品募集

#### ◆サイズ

・カラーまたは白黒作品でサイズは四つ切のみ。

#### ◆応募締め切り

・平成30年7月13日(金)当日消印有効  
(郵送中の事故、破損については責任を負いかねます。)

#### ◆応募方法

・応募票を作品裏面に貼付、郵送または斎王まつり事務局受付。

#### ◆応募上の注意事項

・応募作品には、応募者本人が撮影したもので一人2点以内(未発表の作品)に限ります。  
・応募票の各項目に楷書で記入し、題名・お名前にはかならずフリガナをつけてください。  
(複数応募の場合はコピーしてください。)

・入賞、入選作品については、あらためてデーターをお借りすることがあります。

・パンフレットやポスター、ホームページなどへの使用権は主催者に帰属します。

・応募作品のご返却はいたしません。

#### ◆賞

・入賞は、10賞(斎王賞ほか)、入選は10作品

#### ◆選考方法

・作品は斎王まつり実行委員会にて選考いたします。

#### ◆発表

・HPにて発表いたします。

入賞者には直接通知いたします。(8月上旬頃)

#### ◆応募先

斎王まつり実行委員会「フォトコンテスト」係

#### ◆応募・問い合わせ先

〒515-1032

三重県多気郡明和町斎宮2811番地

斎王まつり実行委員会事務局

電話 059615210054





第33代 齋王役  
中前 安薫

## 齋王役を務めて

齋王まつりからスタートした齋王役。

天皇に代わってお祈りを捧げる役割を担っていた齋王様。私も実際お祭りの中で禊の儀やお祈りを通して、改めて自身の気持ちや行動を振り返りながら身の引き締まる思いが致しました。

齋王まつり、観月会、古道まつりなどでは平安時代にタイムスリップしたかのような優雅な時間を過ごせ、またお天気にも恵まれ、私も優雅な舞や音楽を楽しむことができました。ご来場いただいた皆様にも楽しんでいただけておれば幸いです。

働く女性の先駆けであった齋王様ですが、自身の仕事を考える中で役を通じて学ばせていただくことがたくさんありました。第三十三代齋王役をお務めさせていただいたことを喜ばしく思います。

親切にしてくださいだった関係者の皆様、応援してくださいだった皆様に心より感謝を申し上げます。昨年は多くの方にご来場いただいた齋王まつり、今後更に発展していくことをお祈り致します。



子ども 齋王  
竹林 優奈

## 子ども 齋王を務めて

千三百年も昔から六百年ずっと続いていた齋王群行の再現で子供齋王に出させてもらったことが、とてもうれしかったです。

その日は、暑かったので気分が悪くなりましたが、係りの方にやさしくお世話をしていただいたので、フィナーレに齋王様と写真がとれて良かったです。ありがとうございました。



葵華葦復元模型 (齋宮歴史博物館蔵)

## 千年の風 蒼い空

齋王まつり実行委員会 代表 森田 均

本年より齋王まつり実行委員会代表を務めさせていただきます。森田均と申します。

齋王まつりは今年第36回を迎えますが、今後もさらに盛り上げていく所存です。

齋王まつりは地元住民の皆様、後援の皆様、協賛企業の皆様のご理解・ご協力にて支えられており、35回までの御礼とともに今後とも引き続きご支援賜ります様よろしくお願い申し上げます。

明和町では齋王まつりのみならず、昨年完成となりましたいつきのみや地域交流センターや明和町観光案内所、いつきのみや歴史体験館を中心としたイベントも開催され、明和町の活性化を実感しています。

齋王まつり実行委員のメンバーはその一端を担っていると自負し頑張っております。

今回のサブタイトルは、その昔 齋王様も感じられたであろう清らかな自然の感覚を感じていただこうと「千年の風 蒼い空」にしました。

ここ齋宮にそよぐ祈りの風、蒼い色の空のしたで繰り広げられる雅な世界を皆様にも体感していただければと思います。

今回は前夜祭においても趣向を凝らした装飾等を予定しており、町内外自慢のグルメを楽しみながら齋王様をはじめ出演者の優美な装束 所作を堪能していただければ幸いです。



## 主催／齋王まつり実行委員会

後援◎三重県、明和町、明和町議会、明和町教育委員会、明和町観光協会、明和町商工会、齋宮歴史博物館、(公財)国史跡齋宮跡保存協会、(一財)民族衣裳文化普及協会、中部運輸局三重運輸支局、近畿日本鉄道株式会社、NHK 津放送局、三重テレビ放送(株)、三重エフエム放送(株)、松阪ケーブルテレビ・ステーション(株)、皇學館大学  
問い合わせ◎齋王まつり実行委員会事務局 TEL.0596-52-0054 FAX.0596-52-7274